



広報

なほ

市民の友

第671号 毎月1回発行
2006年(平成18年)

12月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷株

市の人口と世帯	
2006(平成18)年10月末現在	
総人口	316,271 (1,999)
男	152,852 (1,060)
女	163,419 (939)
世帯数	129,885 (1,196)
住民基本台帳人口の内部(外国人を除く)	
本 庁	93,400
真和志	105,518
首 里	58,322
小 禄	57,032



琉球王朝の繁栄をしのばせる

華やかに首里の秋祭り

約450年にわたる琉球王朝の王都として栄華を誇り、様々な文化の発信拠点となった首里を舞台に、今秋、古式ゆかしい二つの祭りが行われました。

10月28日に綾門大道で行われた「綾門大綱曳ぎ」は、琉球王朝時代に琉球国王の代替わりの際に行われた伝統行事です。

三頭貫と呼ばれる独特の形式で行われるのは、明治時代の1898年以来、108年ぶりとなる大綱曳ぎに、地域のみならず多数参加。東西に分かれ、「ハイヤ、ハイヤ」と威勢の良い掛け声を掛け合いながら、大綱を引き合いました。

また、11月3日に行われた首里文化祭では、琉球国王が正月3日の日に、国民の幸福と国の安泰を願って円覚寺、天王寺、天界寺をまわった参詣行幸の行列「古式行列」が色鮮やかに再現されました。

行列では、首里地域の住民のみならず約300人が、王朝時代のあてやかな衣装に身を包み、役人や大臣国王のお付きの人などに扮して、歓会門を起点に首里の町を練り歩き、琉球王朝の繁栄をしのばせました。

沿道を埋めつくした、大勢の観光客や地元の人たちは、古式行列に続く旗頭行列やエイサーなど、総勢3000人の祝賀パレードに声援や拍手を送り、祭りの雰囲気を楽しんでいました。

主な紙面

- 漫湖の自然環境を守ろう
- 平成19年度保育所入所児童募集
- 平成18年を振り返って
- 情報PACK

6 4 3 2
7 5

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を發揮しながら協力しあうことです。

11月1日、市と社会福祉法人立保育園那覇市園長会(国吉実節子会長が協定書を締結)、「協働のまちづくり」の一環として、7日より、一斉に市内60か所の認可保育所園との協働による「子育て応援DAY」をスタートさせました。

初回7日には、88組163人の親子が各保育所園を訪れ、多くの保育士や先生方との交流遊びや給食体験を楽しみました。

利用者からは「楽しかった!こういう機会を待っていた」、「毎日でも来たい!」、「子どもも最初は緊張していたが、他の子どもと遊んでうれしそうでした」などの声が寄せられました。

また、受け入れをした保育所園からは「親子が楽しんでいる様子を見てホッとしました」、「好評で思っていた以上に申し込みがありました」などの報告がありました。

市では、身近な保育所園へ気軽に出席、普段、家庭の中だけではなかなか体験できない遊びなどを保護者と一緒に体験することで、楽しいひとときを過ごしてほしいと考えています。

また、給食の試食体験をすることで、離乳食・乳児食などの形態や味付け、子どもの食べる分量などについて、保護者の意見交換の場としても期待できます(こじか保育園では12組の親子が参加)

保育所での体験を楽しみませんか!

市のこどもみらい局では、「子育て応援DAY」を利用することにより、子育ての不安感や負担感、孤立感が緩和され子育て環境の充実に向上し、大きな期待を寄せています。

お問い合わせは
那覇市こどもみらい局子育て応援課
☎867-0111
(内2526・2454)



子育てをする保護者の意見交換の場としても期待できます(こじか保育園では12組の親子が参加)

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。
☎862-9942 秘書広報課

12100 再生紙を
使用しています。

漫湖の自然環境を守ろう

漫湖に親しむことで、身近に残された自然の大切さを再認識してもらおうと開催されてきた**国場川水あしび**も12回目を迎えます。今年は、12月9日(土)に行われます。

渡り鳥の休憩地・漫湖

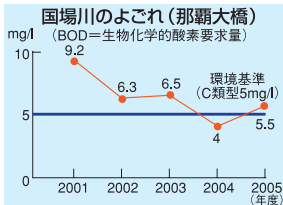
春、ツバメは、東南アジアから日本などへ渡ってきます。秋冬の風物詩サシバは、冬には北から南へ渡ってきます。世界中で700羽ほどしかないと言われている珍しい鳥・クロツラヘラサギは、朝鮮半島などから冬に渡ってきます。みな、琉球列島で、休憩し、餌を探り、ねぐらを得ながら、それぞれの繁殖地や越冬地を目指します。市内南部を流れる国場川流域の漫湖は、まさにこのアジアをつなぐ渡り鳥の中間地で、国内では「国設鳥獣保護区特別地区」に、国際的には「ラムサール条約(湿地の環境を守つていくという条約)」にも登録されている重要な湿地です。しかし残念ながら、渡り鳥の飛来数は減少傾向で、対策が急がれています。



漫湖に飛来するクロツラヘラサギ

水質の改善

今こそ、公園も整備され、住宅地に隣接した貴重な自然として、また住民の憩いの場として親しまれています。一昔前は「臭い



今後、水あそびができるような雰囲気にしていくには、洗濯や台所・トイレなどの生活排水などを垂れ流さないように、さらに流域住民のみなさんのご協力が必要となります。

漫湖の自然環境の変化

陸地から眺めると、以前は泥地・干潟が大きくありましたが、最近ではマングローブ林が急速に広がっています。



漫湖のマングローブ林



ゴミひろいエコカッポイ!かも



マングローブに ついては、このま ま広がっているの か、以前のような泥地・干潟を取り戻すのが良いのか、議論が分かれています。マングローブは不要とする理由のひとつに「マングローブにゴミが溜まっている」という考えがあります。では、マングローブがなくなれば、ゴミもなくなるかという点、そうではなく、ゴミがそのまま下流の港や海岸など海に行くだけで、あいかわず那覇の街はゴミに囲まれたままです。

多くの方に身近な自然について考えるきっかけにしたいだけだと思います。お問い合わせ 環境保全課 ☎951-3229

マングローブの是非はともかく、ゴミがポイ捨てされ、景観を損なうのはもちろんのこと、まわりまわると、渡り鳥を含む生き物やみなさんの生活にも影響を及ぼしていくことが問題ではないでしょうか。

まずは、身近なところから、できることから。今、国場川流域・漫湖の環境について、どういう形で未来を担っていく子ども達へ引継いでいくのか、広く市民界民の間で考えていくことが必要です。

市では、国場川水系の環境保全活動の一環として、市民・企業・学校など力を合わせて、「国場川水あしび」を実施しています。今回は、12月9日(土)

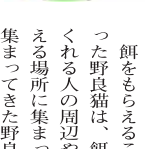
事業系ごみ減量大作戦



職場での分別にご協力を!

人と動物の共存を目指して

② 環境保全課 ☎951-3229



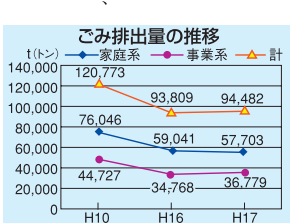
みなさんは、街で見かけた野良猫や捨て猫に、可愛いか、かわいそうといった気持ちで、餌を与えたことはありませんか? 心当たりのある方は、餌をあげる前に少し考えて見て下さい。

餌をもらえることが分かった野良猫は、餌を与えてくれる人の周辺や餌をもらえる場所に集まってきます。集まってきた野良猫は、餌を食べるだけでなく、その周囲に住む方々の庭などに、糞や尿をしまい、不快な思いをさせてしまいます。しかも、年に2~3回の発情期があり、交尾することによって、猫が集まるだけではなく、どんどん増えてしまうことにもなります。そうすると、糞や尿の被害がますます増え、周辺住民とのトラブルに発展してしまつことも少なくありません。

野良猫を思いやるあまり、餌を与えてしまったあなたが、気づかないうちにトラブルを起こす原因になってしまつかも知れません。安易に野良猫に餌を与えるのはやめましょう。



ごみの現状 市では那覇市一般廃棄物処理基本計画で、平成23年度までにごみ排出量を30%以上削減(対平成10年度比)することとしています。平成16年度までは事業系ごみ、家庭系ごみ共に順調に減量してきました。しかし、平成17年度は事業系のごみが約2000トン増加したことから、平成18年度は事業系ごみの減量を課題に、ごみ減量の対策を行っています。



集運搬許可業者を持ち帰ってもらっています。中でも古紙類の混入が多く見られます。市では資源化可能な古紙類は搬入を禁止しています。そのため分別のされたいない事業系が特定できない場合は文書通知や直接訪問による指導を行っています。

ごみ減量に取り組むことは環境負荷の軽減、税金の節約にもつながりますので、市民のみなさまの各職場でのご協力をお願いします。お問い合わせ 環境政策課 ☎951-3231

環境研修会 収集運搬許可業者や大規模事業所などを対象に環境研修会を開いて現状を理解してもらい、ごみ減量の方法などを紹介しました。

ごみ搬入検査 那覇・南風原クリーンセンターに搬入される事業系燃やすごみの検査を行っています。燃やすごみの中から資源化が出た場合は回収してらっています。



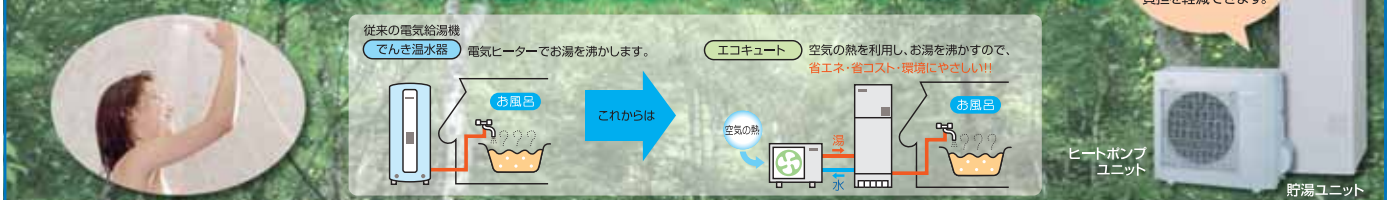
那覇・南風原クリーンセンターでごみの搬入検査を行う市職員

大規模事業所訪問 市では毎年、大規模事業所に一般廃棄物減量化計画書を提出してらっています。

12月は地球温暖化防止月間です。Let's Tryできることから! ☎951-3231 環境政策課



環境にやさしい省エネ給湯機「エコキュート」



「エコキュート」は、国の補助金交付対象なので、初期費用の負担を軽減できます。

お問い合わせは、お近くの沖縄電力へお気軽にどうぞ

【那覇支店営業開発グループ ☎098-867-3132】【おきてんふれあいプラザ ☎098-866-7123 ☎0120-084-875】



那覇市立保育所一覧

保育所	所在地	電話番号	園が	延長	一時	休日
1 めおと橋保育所	若狭3-32-7	868-5928	○			
2 当蔵保育所	首里当蔵町1-28	884-5924	○			
3 松川保育所	松川2-3-18	832-6861	○			
4 安謝保育所	安謝2-15-2	868-7271	○	○	○	○
5 樋川保育所	樋川1-8-16	832-7451	○			
6 宇栄原保育所	宇栄原598	857-0483	○	○		
7 若狭浦保育所	若狭3-18-6	867-7233	○	○	○	
8 久場川保育所	首里久場川町2-20	886-8042	○			
9 与儀保育所	樋川2-5-21	834-0962	○	○	○	
10 松山保育所	松山1-30-14	868-5072	○			
11 石嶺保育所	首里石嶺町2-122	886-1052	○	○		
12 赤平保育所	首里赤平町2-67	887-7061	○			
13 泊保育所	泊2-20-8	862-0082	○			
14 大道保育所	三原3-14-7	854-1017	○			
15 城北保育所	首里石嶺町3-227-1	885-4848	○	○		
16 鏡原保育所	鏡原町10-38	857-4188	○	○	○	
17 大名保育所	首里大名町3-82-1	885-4520	○			○

※松山保育所、城北保育所については、平成19年度4月から民営化される予定です。
認可私立保育園一覧

保育所	所在地	電話番号	園が	延長	一時	休日
1 さくら保育園	寄宮1-16-10	832-4549	○	○		
2 みやぎ原保育園	寄宮1-16-1	832-3914	○			
3 わかさ保育園	松山1-28-1	868-7713	○			
4 わかば保育園	寄宮1-7-3	832-6600	○			
5 よしたけ保育園	具志3-20-12	857-1787	○	○	○	
6 愛泉保育園	安里3-19-16	867-5133	○	○		
7 しらゆり保育園	識名1-14-43	855-2173	○			
8 マリア保育園	安里3-7-1	863-9879	○			
9 渡保育園	首里金城町2-71	886-4060	○	○		
10 みどり保育園	首里石嶺町4-216-3	886-6016	○	○		
11 野菊保育園	高良1-9-10	857-6849	○	○		
12 わかめ保育園	首里石嶺町3-199-2	885-2103	○	○	○	
13 大空保育園	首里末吉町3-63	886-0101	○	○	○	
14 ガジマル保育園	銘苅1-19-2	866-1174	○	○	○	
15 若杉保育園	首里大名町1-64-5	887-1912	○	○	○	
16 クッピー保育園	曙2-21-12	861-1931	○	○	○	
17 みぎわ保育園	首里石嶺町4-109-1	887-3121	○			
18 こしが保育園	天久2-5-35	941-4112	○	○	○	
19 ひまわり保育園	小禄1-18-31	857-1268	○	○		
20 ポプラ保育園	豊川2-5-13	853-1819	○	○		
21 あさひ保育園	真地229-4	836-5300	○	○		
22 平和保育園	長田2-34-41	854-7221	○	○	○	
23 千草保育園	山下町10-7	858-4039	○			
24 エミール保育園	寄宮3-3-5	853-0741	○	○		
25 おおたけ保育園	曙2-8-13	863-7388	○	○		
26 二葉保育園	繁多川1-13-20	834-4691	○	○	○	
27 玉の子保育園	牧志2-3-15	867-3221	○	○	○	
28 こくら保育園	古波蔵2-4-32	834-6000	○	○	○	
29 松島保育園	松島2-1-12	886-1366	○			
30 愛心保育園	上間384-15	854-5386	○	○	○	
31 琴の音保育園	首里寒川町2-68-1	886-3221	○	○	○	
32 第二エミール保育園	国場1180-7	832-6006	○	○	○	
33 コスモ保育園	牧志2-17-21	869-1212	○	○	○	
34 すがやま保育園	金城2-3-10	858-8181	○			
35 玉の子夜間保育園	牧志2-3-15	867-3221	○			
36 たばる愛児保育園	田原3-12-4	857-1769	○	○		
37 みやび保育園	安謝1-8-23	941-5567	○	○	○	
38 童の城保育園	銘苅3-17-1	860-4710	○	○		
39 あやめ保育園	小禄4-11-14	858-2005	○	○		
40 はとっぱ保育園	宇栄原850-2	857-7491	○	○	○	
41 いちごえ保育園	田原4-2-14	852-0244	○	○		
42 おろく保育園	宇栄原3-15-46	857-4033	○	○	○	
43 よぎ南保育園	与儀2-10-17	853-4528	○	○	○	

※上記一覧表は平成18年度の状況です。平成19年度には若干変更がある場合もあります。

【申込み受付期間】
平成19年1月4日(木)～17日(水)午前8時30分～午後5時15分(土曜、日曜、祝日及び昼食時間を除く)ともみらい課又は各保育所園
【申込み受付場所】
市役所本庁2階こどもみらい課
●希望する保育所(園)は自由に選べますが、希望保育所(園)への申込者が多数の場合は選考になります。
●平成18年1月以降に提出済の入所申込書は、平成19年度4月1日入所選考まで有効です。
●こどもみらい課窓口へ入所申込書を提出することができない方は、お近くの保育所園に提出の代行を依頼することが出来ます。代行受付の締め切りは1月12日(金)になります。
●保育料については、世帯の所得課税状況及び児童の年齢に応じて決定されます。●詳しいことは、こどもみらい課(☎8616903)までお問い合わせください。

【特別保育】
市立及び認可保育所(園)では、通常保育のほか、次の特別保育事業を行っています。詳しいことは、こどもみらい課へお問い合わせください。
●延長保育
通常保育を利用する保護者の就労形態の多様化に伴い、延長保育の需要が増えています。延長保育は、通常保育の延長として、保育所(園)により延長する時間や料金が異なります。
●一時保育
在宅で育児をされている保護者の傷病・入院・災害・事故、又は育児に伴う心理的・肉体的負担の解消のため、若しくは勤務形態等により家庭における育児が断続的に困難になるなど、緊急・一時的に保育が必要となる児童を保育所(園)で保育する事業です。利用人数の制限及び利用料金の徴収があります。
●乳幼児健康支援一時預かり
病気の回復期にあるために集団保育が困難な児童で、保護者が仕事の都合など家庭で面倒をみることでできない児童を預かって下さい。

【申込み受付期間】
平成19年1月4日(木)～17日(水)午前8時30分～午後5時15分(土曜、日曜、祝日及び昼食時間を除く)ともみらい課又は各保育所園
【申込み受付場所】
市役所本庁2階こどもみらい課
●希望する保育所(園)は自由に選べますが、希望保育所(園)への申込者が多数の場合は選考になります。
●平成18年1月以降に提出済の入所申込書は、平成19年度4月1日入所選考まで有効です。
●こどもみらい課窓口へ入所申込書を提出することができない方は、お近くの保育所園に提出の代行を依頼することが出来ます。代行受付の締め切りは1月12日(金)になります。
●保育料については、世帯の所得課税状況及び児童の年齢に応じて決定されます。●詳しいことは、こどもみらい課(☎8616903)までお問い合わせください。

【特別保育】
市立及び認可保育所(園)では、通常保育のほか、次の特別保育事業を行っています。詳しいことは、こどもみらい課へお問い合わせください。
●延長保育
通常保育を利用する保護者の就労形態の多様化に伴い、延長保育の需要が増えています。延長保育は、通常保育の延長として、保育所(園)により延長する時間や料金が異なります。
●一時保育
在宅で育児をされている保護者の傷病・入院・災害・事故、又は育児に伴う心理的・肉体的負担の解消のため、若しくは勤務形態等により家庭における育児が断続的に困難になるなど、緊急・一時的に保育が必要となる児童を保育所(園)で保育する事業です。利用人数の制限及び利用料金の徴収があります。
●乳幼児健康支援一時預かり
病気の回復期にあるために集団保育が困難な児童で、保護者が仕事の都合など家庭で面倒をみることでできない児童を預かって下さい。

【申込み受付期間】
平成19年1月4日(木)～17日(水)午前8時30分～午後5時15分(土曜、日曜、祝日及び昼食時間を除く)ともみらい課又は各保育所園
【申込み受付場所】
市役所本庁2階こどもみらい課
●希望する保育所(園)は自由に選べますが、希望保育所(園)への申込者が多数の場合は選考になります。
●平成18年1月以降に提出済の入所申込書は、平成19年度4月1日入所選考まで有効です。
●こどもみらい課窓口へ入所申込書を提出することができない方は、お近くの保育所園に提出の代行を依頼することが出来ます。代行受付の締め切りは1月12日(金)になります。
●保育料については、世帯の所得課税状況及び児童の年齢に応じて決定されます。●詳しいことは、こどもみらい課(☎8616903)までお問い合わせください。

【特別保育】
市立及び認可保育所(園)では、通常保育のほか、次の特別保育事業を行っています。詳しいことは、こどもみらい課へお問い合わせください。
●延長保育
通常保育を利用する保護者の就労形態の多様化に伴い、延長保育の需要が増えています。延長保育は、通常保育の延長として、保育所(園)により延長する時間や料金が異なります。
●一時保育
在宅で育児をされている保護者の傷病・入院・災害・事故、又は育児に伴う心理的・肉体的負担の解消のため、若しくは勤務形態等により家庭における育児が断続的に困難になるなど、緊急・一時的に保育が必要となる児童を保育所(園)で保育する事業です。利用人数の制限及び利用料金の徴収があります。
●乳幼児健康支援一時預かり
病気の回復期にあるために集団保育が困難な児童で、保護者が仕事の都合など家庭で面倒をみることでできない児童を預かって下さい。

平成18年12月1日より 出産育児一時金の受取代理制度を導入します

国民健康保険課では、被保険者の経済的負担の軽減を図るため、現在の出産育児一時金の支払方法に加え、直接、医療機関に振り込むことが出来る受取代理制度の方法を追加します。

妊娠・出産は、病気ではないため、健康保険が適用されません(但し、異常妊娠、異常分娩の場合には健康保険が適用されます)。

そのため、出産にかかる費用は全額自己負担となり、医療費負担がかさむのは明白です。

しかし、まとまった支出となる出産費用の一部をまかなってくれるのが、出産育児一時金です。

市では、被保険者の高額な出産費用の負担を緩和し、安心して出産を迎えられるように、出産育児一時金の受取代理制度を導入します(※平成18年12月1日より申請受付可)。

現在の出産育児一時金は、通常出産後に、申請により支給されています。受取代理制度を利用すると、申請者は、出産育児一時金支給額を超えた金額のみを医療機関へ支払うことになります。

医療機関からの請求額が出産育児一時金支給額に満たない場合は、その差額分が那覇市から申請者に支給されます。

出産育児一時金の受取代理制度を利用することができる者は、次の要件を満たしている世帯主です。

- (1)被保険者の出産について、出産育児一時金の支給を受ける見込みがあること。
- (2)被保険者の出産が次のいずれかに該当すること。
ア.出産予定日まで1月以内であること。
イ.妊娠12週(85日)以上で、出産費用の支払いが必要になったこと。
- (3)医療機関等の同意が得られること。
- (4)国民健康保険税に未納がないこと。
- (5)帝王切開など保険適用とされる医療行為による出産でないこと。

お問い合わせ 国民健康保険課給付グループ ☎862-4262

成人式情報 ☎891-3502 生涯学習課 <http://www.edu.city.naha.okinawa.jp/syogaku/kenzeng/seijin.htm>

子供から大人まで楽しめる 航空自衛隊那覇基地 エアースタ2006

12月10日(日)午前10時～午後5時(入場自由、売店多数)

各種イベント紹介 (すべて無料)

- ・各種航空機の展示飛行と地上展示
(ブルーインパルス、F-15戦闘機、F-4戦闘機、T-4、UH-60、P-3、C-1、YS-11、U-4)
- ・ベトリオット、基地防空火器の展示
- ・美術展
- ・スタンプラリー、ミニSL、戦闘機と綱引き、操縦席体験、消防車射的、モデル撮影会、ピエロパフォーマンス
- ・コンサート 南西航空音楽隊
ゲスト：藤原美弥子、レイナ、ハーツグロウ

問い合わせ先：TEL 857-1191 内線3291

那覇基地は、ゆいレール赤嶺駅から徒歩5分。
那覇軍港駐車場より無料シャトルバスで送迎。

アドバルーンが目印

平成18年を
振り返って

市民・事業者のみなさま 協働へのご協力ありがとうございました



今年一年を振り返って

今年も早いもので12月、師走の慌しい季節を迎えました。この1年を振り返りますと、いろいろなことがありましたが、市民の皆様には、本市がこれからのまちづくりの中心的な考え方として取組んでまいりました「協働」のまちづくりへのご理解とご協力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

今年は、那覇市制が施行されてから85周年を迎えた記念すべき年でありましたが、6月に首里鳥堀町で長雨による地盤陥没事故が発生し、被災された皆様には、大変不安な厳しい年であったと思います。そのような折に、多くの皆様の物心両面からの温かいご支援をいただきましたことは、被災者の皆様のみならず、私も行政にとりまして心強い思いをいたしました。

本市の施策としましては、4月に「こどもみらい局」を発足させ、就学前児童の子育て支援の充実を図る取組みを強化したほか、西消防署庁舎の落成、那覇市歴史博物館の開館、都市公園の整備、環境問題への取組み等々、ソフト、ハード両面からの様々な取組みができたものと思っております。

新しい年に向けても、多くの方々との協働を多様なかたちで推進し、人與人、心と心の豊かな交流とつながりを深めながら、みんなで支え合い、創り上げていく風格ある県都・那覇市のまちづくりを推進してまいりたいと思います。

那覇市長 翁長雄志

1月

- 4日 ●平成18年新年祝賀名刺交換会
- 5日 ●国際通りの電柱への感謝イベント
国際通りの電線類の地中化に伴い、役割を終え撤去される電柱に感謝するイベントが行われ、久茂地小学校1年生の児童による創作劇「電柱さんありがとう」などが披露された。
- 6日 ●平成18年那覇市消防出初式
●新垣渚投手「愛基金」で車いすを贈る
- 8日 ●平成18年成人式
- 20日 ●大型クルーズフェリー火災消火・救急・救助訓練
大型クルーズフェリー内で火災が発生したことを想定した、火災消火・救急・救助訓練が実施された。
- 23日 ●つどいの広場わくわく開所
乳幼児を持つ親が子育てに関する情報交換や悩み相談が気軽にできる場「つどいの広場わくわく」が栄町に開所した。



市出身の新垣渚投手から、「愛基金」を通じて市へ10台の車いすが寄贈された(6日)

2月

- 9日 ●なはさくらまつり2006(～12日)
- 16日 ●交通死亡事故追放那覇市民総決起大会
交通死亡事故が多発していることから、市では、那覇警察署と那覇地区交通安全協会と連携し、与儀公園内野外ステージで交通死亡事故追放那覇市民総決起大会を開催した。
- 18日 ●漫湖チュラカーゴ作戦16
- 24日 ●西消防署庁舎竣工式
老朽化により平成17年8月から建て替えが行われていた西消防署の工事が完了した。
- 25日 ●こどもエコクラブヘルパー養成講座開催
環境について活動する小・中学生のクラブである「こどもエコクラブ」のメニュー作りや指導、活動の手伝いが出来る人材の養成を目的に、こどもエコクラブヘルパー養成講座が開催された。



3月1日から、都市防災の拠点・新西消防署として業務を開始した(24日)

3月

- 1日 ●那覇市救急特別救助隊発足式
人命救助に関する専門的教育を受けた救助隊員の中から選抜された18人で編成する特別救助隊が県内で始めて発足。大規模災害が発生した場合は、県外にも出張し高度な救助活動を展開する。
- 5日 ●にぎわい広場チャレンジ手作り市
●宝くじふるさとわくわくシアターin那覇
- 10日 ●那覇市消防総合火災防御訓練
- 17日 ●3・19ミュージックの日「お役所ライブ」
- 18日 ●CD「めいどいん栄町市場」お披露目記念ライブ
- 24日 ●第4次総合計画講演会&フォーラム
- 31日 ●構造改革特別区域計画「なはIT人材育成特区」が内閣府より認定される。



栄町市場で働く人々とミュージシャンが栄町市場の思い出が詰まったCDを作成。地域活性化につながるかと期待される(18日)

4月

- 1日 ●沖縄ストリートスタイルフェスティバル2006(～2日)
ストリート系ダンサーやミュージシャンが勢を競う「沖縄ストリートスタイルフェスティバル2006」が開催された。
- 2日 ●2006波の上ビーチ海開き
- 3日 ●壹屋でシーサーの日!宣言
- 5日 ●市営住宅退去滞納者に対する集金業務を民間委託することを発表
- 7日 ●翁長市長が初期の胃ガンであることを発表。1か月の入院加療に入る
- 10日 ●市内小学校で入学式
- 20日 ●鯉のぼり掲揚式
- 22日 ●第18回地球の日アースデイ2006沖縄inなは大会



市内36の小学校で一齐に入学式が行われ、3,505人の子どもたちが小学生の仲間入りをした(10日)

5月

- 3日 ●第32回那覇ハーリー(～5日)
- 9日 ●市議会議員の普通救命講習会
- 15日 ●新都心天空橋開通
- 20日 ●初期の胃ガン治療のため1か月公務を離れていた翁長市長が復帰
●那覇市制施行85周年記念式典
市制施行85周年記念式典を開催。各分野で功績のあった市政功労者10名・49の個人・団体を特別表彰。
- 27日 ●太平洋・島こども環境サミット
県内と太平洋の島々16か国・地域の子どもたち44人が自分たちの住む島々の自然や地球環境について意見交換などを行った。
- 30日 ●こみせゼロの日職員お掃除隊



モノレールのおもろまち駅から県道那覇・宜野湾線をまたいで新都心公園を結ぶ「おもろ天空橋」が完成した(15日)

6月

- 2日 ●第48回水道週間inバレット(～3日)
- 3日 ●那覇市少年少女ドッジボール大会
- 12日 ●首里鳥堀町5丁目で長雨による地盤陥没事故が発生
首里鳥堀町5丁目のマンションが長雨による地盤陥没のため傾斜。倒壊する恐れがあるため、14世帯40人と近くの9世帯25人が避難した。
- 13日 ●首里鳥堀町5丁目陥没等に対する災害対策本部が設置された
- 25日 ●シンポジウム「マチグワ×子ども＝那覇のまちの未来」開催
- 28日 ●歴史博物館エアタイトケース贈呈式
7月8日に開館する「那覇市歴史博物館」へ、沖縄銀行より展示ケース(エアタイトケース)が寄贈された。



翁長市長を本部長とする災害対策本部が設置され、消防や警察と協力し24時間体制で警戒にあたる(13日)

7月

- 1日 ●新都心循環線コミュニティバス出発式
- 5日 ●翁長市長が松山保育所と城北保育所を平成19年4月1日付けで民営化すると発表
- 8日 ●那覇市歴史博物館開館
「王朝文化と都市(まち)の歴史」を基本テーマに、常設、特別、企画の三展示室で構成された那覇市歴史博物館が開館した。
- 12日 ●定例記者会見において、翁長市長が新都心地区庁舎候補地の売却を表明
- 15日 ●やる気・元気フェスティバルinなは
市内の中学生らが、ストリートダンスやバンド演奏などを披露する「やる気・元気フェスティバルinなは」が開催された。
- 16日 ●有人潜水調査船「しんかい6500」一般公開
- 21日 ●平成18年度「健康なは21」推進市民大会開催
- 30日 ●夏祭りin那覇2006一万人のエイサー踊り隊



琉球王国時代から現代にいたるまで、独自の文化が育まれた那覇の歴史を紹介する(8日)

8月

- 1日 ●第6回おきなわ・那覇の観光写真コンテスト表彰式
- 2日 ●「なは情報通信産業の集積・振興による地域活性化計画」が内閣総理大臣より認定される。琉球大学との連携によりIT産業人材養成事業を実施する
- 10日 ●ゆいレール開業3周年記念イベント
沖縄都市モノレール(株)と愛好会との利用促進をテーマとした意見交換会や3周年記念SFカードの発行なども行われた。
- 23日 ●「環境と交通」生活の足を考えるシンポジウム
子どもたちの目線・で、車に依存したライフスタイルを見直し、地球温暖化に歯止めをかけようとして開催された。
●こどもクッキング教室
- 25日 ●那覇市シルバー交通安全ゲートボール大会



子どもたちに、食育の大切さと料理の楽しさを知ってもらおうと、市保健センターで開催された(23日)

9月

- 2日 ●固定資産税過徴収
港湾施設などにある「冷凍倉庫」に課す固定資産税について、課税額が多くなる「一般倉庫」の基準で計算し、税金を取り過ぎていたことが判明。市は過失を認め、過徴収の過去10年分に利息を合わせた額を返還することを決定した。
- 9日 ●平成18年度那覇市救急フェア
●第14回なは青年祭(～10日)
- 13日 ●歴史博物館入館者数1万人突破
7月8日に開館した歴史博物館の入館者数が一万人を突破、それを記念したお祝いのセレモニーが行われた。
- 27日 ●三世代ふれあい交通安全の集いin那覇
- 29日 ●なは女性センター10周年記念講演会
- 30日 ●那覇市・福州市の友好25周年記念交流会



男女平等の豊かな社会をめざしオープンした、なは女性センターの10周年を記念した講演会が行われた(29日)

10月

- 1日 ●「第45回赤い羽根空の第1便」伝達式
- 4日 ●第14回那覇市都市景観賞表彰式
- 5日 ●飲酒運転撲滅市長メッセージ収録
飲酒運転に絡む交通事故の多発を受け、翁長市長が飲酒運転撲滅を呼びかけるメッセージを収録。6日より市内の世帯へ発信された。
- 9日 ●ふれあいジャズフェスティバル2006
- 13日 ●ホノルル市長が那覇市国際親善名誉市民に
●ホノルル市との姉妹都市締結45周年記念植樹
●那覇市いちやばりチャョデー交流パーティー
- 16日 ●第2回なは市民芸術展が開幕
- 17日 ●「黄金森公園」開園式
- 31日 ●市指定史跡「与那覇勢頭豊見親逗留旧跡碑」の説明板と香炉が破壊された



新都心地区が緑豊かな森で「黄金の森」と呼ばれていたことからその名が付けられた公園が開園した(17日)

11月

- 1日 ●「子育て応援DAY」実施の協定書締結式(1面に関連記事)
市と公立・認可保育所(園)60か所で、保育園を利用していない保護者を支援する「子育て応援DAY」がスタートした。
- 3日 ●首里文化祭(1面に関連記事)
- 6日 ●コミュニティバス出発式
- 9日 ●防火ボスターコンクール表彰式
- 11日 ●平成18年度那覇市総合防災訓練
地震発生後の津波襲来により、甚大な被害の発生したことを想定した総合防災訓練が奥武山運動公園で実施された。
- 12日 ●2006那覇市環境フェア
- 19日 ●沖縄県知事選挙投票日



平成19年2月までの予定で、真和志地域と小禄地域でコミュニティバスの実証実験がスタートした(6日)

「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づく特別遺族給付金

ニュース・ダイジェストNAHA

クリスマスと伝統工芸品の融合

DFS沖縄クリスマスツリー点灯
11月1日、DFSギャラリア沖縄のメインレセプションホールに高さ10メートル、幅5メートルのクリスマスツリーがお目見えし、盛大に点灯式が行われました。

「琉球クリスマス」をテーマにした今回のツリーは、500個の「琉球ガラス」で作られた花輪やベルなどの装飾品で飾られ、季節の行事と沖縄の伝統工芸品が融合した作品となっています。点灯式には、サンタクロースが登場するなど、会場は一足早いクリスマスモードに包まれました。



自分たちの町は自分で守る 平成18年度那覇市総合防災訓練

奥武山総合運動公園で11月11日、本島南西沖を震源とする地震が発生した津波で、甚大な被害が出たことを想定した総合防災訓練が実施されました。

訓練には、市消防本部のほか陸海自衛隊、沖縄県警など35の機関・団体が参加。会場を訪れた多くの市民のみならず、ヘリコプターを使った負傷者救助や初期消火活動など、本番さながらの訓練を通して、「自分たちの町は自分で守る」という自主防災意識の大切さを学びました。

企画展 あゝ頃的那覇

昭和30年代の風景・金城棟永写真集より



「チャンバラ遊びのウーマーたち」
「屋敷のウガンをする老女」
「商工祭でにぎわう国際通り」
「いづれも金城さんによって、記録された昭和30年代の風景である。悲惨な地上戦をまともに被った那覇のまちや人々が、ようやく立ち上がり元気な兆しが確実に読み取れる。あくまで、淡々と客観的な視点からは銜いや気負いを感ぜさせない。時を共有する者が、すうと浸り込んでいける、生活空間を視点とした映像の世界が広がる。金城さんの場所と日付が記録された写真は、歴史資料としても価値が高い。いわゆる映像による「時代の記録」である。自身の撮影コンセプトも常に「記録」である。客観性を表現するために、写し込め対象にはこだわった。どの写真も、可能な限り画面に情報を採り込むアングル

である。写真に記録という写真本来の姿がみえる。おそらく今後もふれることないアングルであろう。

金城さんは昭和27年、22歳で初めてカメラを手にした。日々の生活に追われる中での撮影である。撮影のきっかけは、那覇の大空襲で家族の写真を焼失してしまったことだといふ。撮り続けた写真は、いつか焼付けをして子供たちと思い出話の種にでもしよう、場所と日付を確実に書き込みただけを菓子缶で43年間保管し続けた。

今回の写真展では、平成16年に市が寄贈を受けた写真163点から、那覇の風景120点を紹介する。

■金城棟永さんによる
ギャラリートーク
12月9日(土)午後2時

歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感!

OTNet 10周年

ひかりふる 2006.10.1→12.31

今なら光がすべてコミコミで!

3,990円

ホームタイプ

OTNet10周年記念
ひかりふるへ
新規ご入会の方に抽選
で毎月10名様へ旅行券
やリゾートホテル宿泊
食事券をプレゼント!

A賞 1名様
10万円の旅行券
所属クラブの
10万円相当旅行券

B賞 13名様
リゾートホテルペア宿泊券
2名様1室(ディナー・朝食付)
※ホテルは抽選で決定
①大宮・②那覇・③那覇・④那覇・⑤那覇・⑥那覇・⑦那覇・⑧那覇・⑨那覇・⑩那覇・⑪那覇・⑫那覇・⑬那覇

C賞 150名様
ホテルディナー券(ペア席)
①那覇・②那覇・③那覇・④那覇・⑤那覇・⑥那覇・⑦那覇・⑧那覇・⑨那覇・⑩那覇・⑪那覇・⑫那覇・⑬那覇・⑭那覇・⑮那覇

新規ご入会の方 光回線料・機器レンタル料・プロバイダ料すべてコミコミでウキウキブライス!!

ホームタイプ
5,670円(1年) 3,990円(1年) 26,250円(1年) 無料!

※2年長期契約はホームタイプ2年長期契約期間内 月額料金 5,670円(1年) 2年長期契約 4,977円

※2年長期契約はホームタイプ2年長期契約期間内 月額料金 4,305円(1年) 2,499円(1年) 21,000円(1年) 無料!

※2年長期契約はホームタイプ2年長期契約期間内 月額料金 3,885円(1年) 1,995円(1年) 3,402円(1年)

0120-944-577 URL: www.ii-okinawa.ad.jp E-mail: info@ii-okinawa.ne.jp OTNet ii-okinawa



持続可能な社会の実現に向けて 2006那覇市環境フェア

11月12日、秋晴れのおだやかな天気の下、「始めよう あなたのエコライフ」をテーマに、「2006那覇市環境フェア」が新都心公園で開催されました。

会場内では、クリーンエネルギー自動車の展示、市内ホテルの使用品を大放出したフリーマーケットのほか、NAHAジュニアジャズオーケストラによる演奏など多彩な催しが行われ、8,000名余の多くの観客にとり、環境のことに

日本料理店を経営したい
2006年度海外移住那覇市出身者研修生

市では、人材育成と国際交流を目的に南米に移住した那覇市出身の2世3世を研修生として受け入れています。

先ごろベルーから那覇を訪れた赤嶺尚史さん(34歳)が市内のホテルで日本料理の研修に励んでいます。

赤嶺さんはベルーで、国内有数の広告代理店を経営する青年起業家。レストラン経営のキャリアもあり、このたび、館をメインとした日本料理店の開店する夢を抱いて、自ら就職人にチャレンジしています。



那覇市環境基本計画見直し案に対する市民の皆様意見を募集します。詳しくは環境政策課 ☎951-3231